

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104050
法人名	有限会社 山崎 介護 センター
事業所名	グループホーム とみひさ
所在地	愛媛県松山市富久町9 5 - 5
自己評価作成日	平成22年6月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お庭には四季折々の花が咲いている。ご近所の方もきれいな言いながら見られる。ご家族さんが面会時に「ここは気楽に来て楽しい」と言われる。食事は季節感を味わえるような旬の食材を使い、野菜やお米は直接お百姓さんから購入。毎月1回は全員でお出かけしたり外食をしている。入院し退所になった方がとみひさに帰りたいと言われる。亡くなられたご家族さんと交流を持ち続けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

回覧板で地域の行事の情報を得て、盆踊りや地藏盆、文化祭等に出かけておられる。盆踊りでは、車椅子を利用している利用者も職員とともに踊りの輪に入り、地域の方と楽しまれた。月一度、音楽療法の日があり、先生を招き、歌を歌ったり鈴やカスタネットを使って、楽しい時間を過ごされている。事業所主催のひな祭りコンサートの際は、ボランティアの方がフルートを演奏してくださり、利用者は音色に感激されたようだ。利用者の方が編み貯めたものを、利用者と職員でマフラーやクッションに作り替え「作品を皆に見てもらおう」と、職員からの提案もあって「ミニ文化祭」が実現された。ご近所の方にも来てもらえるよう案内のチラシを配られて、多くの方とご家族の参加を得たようだ。職員手作りのおはぎとお茶でもてなしをされた。
法人代表者は、毎年、職員個々の段階に応じた、個別の研修計画を作成されており、研修参加や資格取得に協力をされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム とみひさ

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 山崎 カツコ

評価完了日

平成22年6月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 開設から六年たち、職員の入れ替わりもなく、管理者、職員は地域に溶け込み、地域に貢献できる様に、地域との理念に取り組んでいる。 (外部評価) 開設時から「ゆっくり・のんびり・心穏やかに」を事業所の理念に定め、毛筆で書いて食堂に掲げておられる。職員は、理念に込められた管理者の思いをよく理解されており「一人ひとり丁寧な介護を行う」ことを事業所の特徴に挙げておられた。管理者は「地域に根差して、グループホームを理解していただきたい」と話しておられ、日々の地域とのつながりを大切にされ、又、地域包括支援センターの方から依頼があり、管理者は、地域の公民館で認知症サポーター講座の講師をされる等、地域の認知症ケアの向上にも取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 北海道の火災後地域の方々に協力依頼をしたり、今年はミニ文化祭を開催し地域の方に来て頂き、また、花の苗をおわけしたり、野菜を頂いたりしている。 (外部評価) 回覧板で地域の行事の情報を得て、盆踊りや地藏盆、文化祭等に出かけておられる。盆踊りでは、車椅子を利用している利用者も職員とともに踊りの輪に入り、地域の方と楽しまれた。月一度、音楽療法の日があり、先生を招き、歌を歌ったり鈴やカスタネットを使って、楽しい時間を過ごされている。事業所主催のひな祭りコンサートの際は、ボランティアの方がフルートを演奏してくださり、利用者は音色に感激されたようだ。利用者の方が編み貯めたものを、利用者職員でマフラーやクッションに作り替え「作品を皆に見てもらおう」と、職員からの提案もあって「ミニ文化祭」が実現された。ご近所の方にも来てもらえるよう案内のチラシを配られて、多くの方とご家族の参加を得たようだ。職員手作りのおはぎとお茶でもてなしをされた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) キヤラバンメイト研修を4名が受講している。管理者は地域の公民館で認知症サポーター研修を依頼され講師をした。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) いろいろな議題で開催し家族さんに喜ばれている。 そこでの意見をサービス向上に活かしている。 職員は運営推進委員会に自主的に参加している。</p> <p>(外部評価) 会議は、奇数月の第2土曜日夜7時からと決めておら れ、市の担当者、包括支援センター、民生委員、ご家 族とともに、職員も毎回5～7名が参加されている。 他グループホームの方の参加をいただくこともある。 会議では「開設後5年間を振り返り介護の見直しと反 省点」を議題にされたり、感染症対策や外部評価結果 の報告等もされている。又、防災対策等も話し合わ れ、活動に対しての意見をうかがっておられる。又、 ホームの夕食の試食会や職員が受けた研修を発表す 場にもなっている。</p>	<p>会議への参加者を上げられたり、開催場所についても 工夫されて、いろいろな方に参加いただき、事業所の 取り組みを知ってもらったり、ご意見をうかがってみ てはどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 困った事があればすぐに相談して助言を受けている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議で市の担当者から「災害時に避難所に行 くルートや実際に歩いて、車椅子が通るか・段 差の確認やAEDの設置場所等を確認する事も良いと 思う」とアドバイスをいただき「マップを作る時には 協力しますよ」と言っていた。又、事業所 は、地域包括支援センターと協力して、公民館で認知 症サポーター講座を開催された。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 研修に毎年参加し勉強している。</p> <p>(外部評価) 玄関に施錠はされておらず、調査訪問日の昼食後には、 職員から「いってらっしゃい」と声をかけられ て、歌を歌いながら玄関から庭に出て、タバコを吸っ ておられる利用者の姿がみられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者は高齢者虐待の研修を受け職員に指導している。 職員同士が虐待のない様意見を出し合い話し合いを持っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) それぞれが勉強できる機会を持てるようにしている。 (ケアマネ、介護福祉士、認知症ケア専門士の受験勉強をしている。) 成年後見制度を利用している方がおられ職員は理解している。日常生活自立支援事業の勉強もしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行っている。納得されるまで説明をしている。 また、書類関係に変更があれば、その都度説明をし同意を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や面会時に伺っていが意見や要望はないといわれる。 苦情相談窓口を設けているが開設後1度もありません。 (外部評価) 事業所は、通信「グループホームとみひさ」で行事の様子を写真を多く採り入れて伝えたり、又翌月の行事を知らせておられる。さらに、ご本人の日々の様子を毎月、お手紙でご家族に報告されている。年1回、クリスマス会時には家族会を行い、ご家族だけで話し合う機会を設け、ご家族からは感謝の声が多いようだ。運営推進会議には、毎回4～5名のご家族の参加がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			年1～2回個人面談を行い職員の思いを聞き運営に反映している。	
			(外部評価)	
			職員からのアイディアで、夜勤者が一日の目標を考えて日誌に書き、日勤者が実践に向けて取り組み、反省を書くようにされており、より細やかな支援ができるような仕組みが作られている。職員と法人代表者の信頼関係もあり、職員からの提案等は採り入れて行ってみるようにされている。法人代表者は、毎年、職員個々の段階に応じた、個別の研修計画を作成されており、研修参加や資格取得に協力をされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			常に各自が向上心を持てるように努めている。	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			各資格修得の支援。人材育成に努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			交流の機会を持っている。ケアプランの指導に行ったり、合同でお花見をしたり、野菜や果物を頂いたり、ネットワーク作りをしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			センター方式を用いてご本人の生活歴を把握している。入所までに時間をかけなじみの関係作りに努め入所して頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>十分に時間をかけて信頼関係を作っている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>とみひさで支援できるかどうか見極めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お互いとともに生活するものとして1日1日を楽しく生活できる様にしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族と利用者の絆を大切にしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>昔の馴染みの関係継続に努めている。 (馴染みの美容室や病院へいっている。) 昔行かれていた喫茶店などにも行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>以前から利用している美容室を、続けて利用できるよう職員が同行されたり、管理者が付き添って選挙に行かれて、ご自分で決めた人に投票することを支援されている。事業所の行事は、ご家族にも案内され、利用者と一緒に楽しい時間を過ごせるよう支援されている。入居前からの馴染みのガイドヘルパーの方と病院を受診して、帰りにデパートに寄って帰る方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 毎週金曜日には全員でゲームを楽しみ交流できる様にしている。食事時には当番で頂きますを言っている。食事時利用者同士が声を掛け合っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院になったり、亡くなられたりして、退所になられてもご縁を大切にしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 常にご本人さんのご意向を伺いながら支援している。ご家族さんとも常に話し合いを持ちご本人さんのご意向に沿うようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者に「どうしますか」「どちらにしますか」「これにしますか」と個々によって言葉を替えて問うようにされ、ご自分で決めることができるよう支援されている。意向の表出が困難な利用者には、表情等も見ながら意向をくみ取るようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 在宅での生活歴を把握し支援している。それぞれが好きな事が出来るようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 何をされたいかお聞きして希望に沿うようにしている。身体状況を考慮し出来ない事は説明し納得して頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族のご意向を伺いながら、ケアプランを作成している。対応困難な方には、職員全員でセンター方式を用いたり何度も検討している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、利用者個々の担当者が立案して、職員全員で話し合い作成されている。週一回、ケアチェック表で実施状況を確認して、月一回、モニタリングを行い、三ヶ月毎に見直しをされている。状況変化があれば、その都度見直しをされている。外出や嗜好品、お化粧品等、それぞれの習慣等を大切にしながら暮らされよう計画作成に努めておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>記録の研修に参加。気づきやエピソードを記録に残している。月2回のカンファレンスで情報を共有している。介護の実践やケアプランの見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>柔軟な対応に取り組んでいる。その時々合わせた支援を心がけている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の神社にお参りしたり、川の鴨、鯉に餌をやり時々出かけている。周りの田んぼを見て季節感を感じている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族の希望にそいかかりつけ医にかかっ ている。アンケートで事前にどこにかかりたいかを確認 している。(協力医院からは毎週往診をしてもらって いる。急変時には連絡、相談をし、指示を受けて いる。)</p> <p>(外部評価) 協力医や歯科医、皮膚科も往診してくれるようになっ ている。その他の専門医の受診は、職員が同行され て、ご家族に結果を電話等で報告されている。協力医 院は、24時間対応してくれるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 管理者に看護師資格があり、急変時の対応方法や異常 の早期発見が出来るように指導している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 利用者が安心して入院生活が送れるように支援してい る。 早期退院に向けて病院関係者と話し合っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご家族と常に話し合いを持っている。職員はターミ ナルケアの研修に参加している。(看取りをさせて頂 いたご家族さんから 寂しいけれど満足な最期だっ たと言われました)</p> <p>(外部評価) ご家族には、終末期支援の意向をお聞きするアンケ ートを行ったり、段階に応じて話し合うような機会を 作っておられる。現在、ホームで最期まで過ごした いと希望される利用者・ご家族は複数おられ、事業所 は、全職員で思いを一つにして、ご本人ご家族の意向 に沿えるような支援に取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に職員は落ち着いて対応できている。 (急変時の対応方法を勉強会で管理者が指導している。)	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域に協力依頼をしている。非常災害時の訓練を定期的に行っている。 (運営推進委員会でも議題にして話し合いました。)	
			(外部評価) 春には、事業所独自で夜間を想定した避難訓練が行われた。その際、窓から利用者を救出しようと試みたが、難しいということが分かり、利用者が安全に避難できるような策について話し合われた。秋にも、消防署の協力を得て、夜間想定避難訓練を予定されている。法人代表者は、職員と一緒に地域の防災訓練にも参加されており、防災管理者の研修も受けておられる。消防署に部屋の間取り図を知ってもらっており、近所の人達からも「すぐに駆けつける」と言ってもらっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人一人のプライバシーに気をつけ支援している。	
			(外部評価) 事業所は、季節の行事を大切にし、利用者が季節を感じながら暮らせるよう支援されている。法人代表者は、職員に日頃から「利用者にも、問いかける」ことの大切さを話されており、問いかけの言葉を工夫して、利用者をご自分で決めることができるよう支援されている。職員は、利用者とのかわりを「ていねいに、ていねいに行くことを心がけている」と話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定出来るように働きかけている。お好きなことをして過ごして頂いている。食べたい物を聞いたり、また誕生日にはお好きなメニューを聞き作っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) お一人お一人のペースに合わせ支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 行きつけの美容室にお連れしたり、身だしなみ、おしゃれが出来るようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の食材の利用、彩や見た目を考慮し個々に合った形態にし食べやすいように工夫している。つくしの袴とり、豆の皮むき等とても喜ばれる。食後の食器は運べる利用者さんは、カウンターまで運んで頂いている。食事を楽しみにされている。	
			(外部評価) 調査訪問時、利用者は食堂に集まって、ご近所の方からいただいた枝豆を茎から取っておられた。献立は、一カ月毎に職員が交代で立てておられ、「少しずつ、いろいろなもの」が食べられるような食事作りが心がけておられる。又、食事は「赤・黄・青等、色を考え」栄養や彩りにも気を配り、毎食、汁物と果物を付けるようにされている。パンを好まれる利用者が多く、朝食はパンとご飯を一日交代にされており、牛乳とバナナで便秘予防に気を付けておられる。職員がおかずを少しずつスプーンに乗せ、ご本人がご自分で口に運んでおられる様子が見られた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 薄味にしカロリーにも注意している。水分補給には十分に努めている。好みの飲み物にしたりその時々状態に柔軟な対応をしている。(水分量のチェックをして記録している。)	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケア、口腔リハビリの意義を理解し毎食後支援している。(訪問歯科で口腔ケアを受けている。)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出来る限りトイレでの排泄支援に努めている。オムツの利用を減らせるように工夫している。排泄パターンを把握しトイレ介助をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者の排泄パターンの把握と「ゴソゴソしている」等のサインを見逃さないようにして、日中は利用者全員が、トイレで排泄できるように支援されている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>便秘について全職員は理解できている。便秘によりイレウスを起こす恐れのある方がおられ飲食物の工夫をしたり、水分補給に努めている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々に合わせた入浴の支援をしている。タイミングを見たり、時間をおいて声掛けをし、楽しく入浴が出来るように 支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々の希望に合わせ、毎日でも入浴できるように支援されている。介護度が重度の利用者も職員が二人で介助して、浴槽で温まれるように支援されている。入浴を嫌がられる方は、言葉かけを工夫したり、足浴等を支援されている。浴室には、緊急連絡用のプザーが取り付けられていた。5月には、菖蒲湯を楽しまれたようだ。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気持ち良く眠れるようにしている。テレビ、ラジオを聞きながら眠られたり、ホールで夜テレビを見て眠くなればお部屋に行かれ眠られる方もおられます。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤の文献で副作用を理解している。落とされたりされるので必ず職員が服薬確認をしている。内服に変更があれば申し送りノートで確認するようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴を把握し嗜好品、楽しみごとを見つけ支援。気分転換に散歩をしたり、点字の練習をしたり、習字をしたり、毎月1回は音楽療法もしている。毎週金曜日にはゲームをしたりくじ引きを楽しんでいる。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 法要に出かけたり、散歩を希望されれば行っている。毎月全員でお出かけして外食をしたりしている。宝くじを買いに行ったり、喫茶に行ったりしている。(認知症が重度の為限られたボランティアの方に依頼している。)	
			(外部評価) 月に一度は、利用者全員で外出をされており、中山のホテルで食事されたり、お寺詣りやダムの見学、イチゴ狩りやホテル狩りも楽しまれている。元旦に初詣に行かれたり、4月には他のグループホームと合同でお花見をされた。日常的に、喫茶店に行かれたり、近所を散歩されたりしている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持たれておられる方、外出時ご自分で買い物をされる方もおられめす。(ないないと不穏になられた場合は、一緒に探しています。)	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状を一緒に書いたり、ご家族から電話がかかったり、ご本人からかけられたり、携帯を持たれておられる方もいます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>全室冷暖房と換気扇を設置。ホールには季節の花を掛け、窓の外庭には季節の花や、野菜が出来、外庭の椅子で日光浴をされたりしている。居心地良く過ごせるような工夫をしている。トイレには毎年職員が干支の絵を描きわかりやすくしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の壁面には、外出時や行事、ご家族と一緒に撮った写真が飾られており、居間から二階へ通じる階段の壁面には利用者のお習字の作品等を貼っておられる。食卓テーブルには、職員が摘んで来られた「野ごぼうの花」が飾られていた。又、階段には手すりを取り付けてあり、数名の利用者は、自由に階段を上がり降りされ「階段は生活リハビリには一番です」と職員は、利用者の行動を見守っておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>お部屋でお一人で過ごされたりホールで話したり、テレビを見たり自由にすごされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みのタンスや使い慣れた物の持ち込みをされている。ご家族さんとの写真を貼ったり、利用者さんが居心地良く過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ひ孫さんが持って来られたぬいぐるみを、ベッドに並べている方がおられた。調査訪問日の昼食後、階段を使って二階の居室で着替えをされる利用者があった。畳の生活をされていた利用者には、畳に布団を敷いて生活できるようにされていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>建物は安全に生活できる様に造られている。利用者の出来ることやわかることは見守りで支援している。</p>	